

ふみびと

第236号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

肩たたき券を握って

いつだって 雨のち晴れ

敬老の日。おじいちゃんとおばあちゃんにお礼を言って、何かプレゼントを贈る日。

子どもの頃はいつだってそんな風に教わって、決して大したものではないけれど、何かを贈るようになりまして。

母方の祖母を残して、祖父母は幼い頃に亡くなってしまったのですが、それでもまだ元気だった頃に贈った「肩たたき券」を受け取った祖父母の嬉

しそうな顔は、今でも変わらずあの日のままの映像で蘇ってくれます。

母にはすごく厳しかったという祖父。物心がついてからそう母に教えられた時に、にわかに信じられないほど、優しい笑顔の記憶しかないのですが、そんな祖父に母は「孫は無責任に可愛がれるからね」と言っていたのが印象的でした。

子どもがいつか厳しい社会の中でも一人で生き



ていけるようにと、心を鬼にして厳しく育てていた祖父は、その志を無事に成し遂げて、ようやくただただ思いのままに可愛がる事ができることに喜びと安堵の気持ちがあつたのかもしれない。残念ながら、今はもう祖母も他界し、敬老の日

に何を贈ろうか、何を贈ったら喜んでもらえるか、そんなことに思いを巡らせる機会も無くなっ

ましたのですが、今でもこの日が近くなるとわずかな思い出が心を温めてくれるような気がします。敬老の日は今はもう祖母に会う日ではなくなっただけ、一緒に過ごした日々を思い返す大切な一日。

時折ふと出る祖父母の田舎の方言。心のどこかにまだ生きているおじいちゃんとおばあちゃんが今でも見守ってくれていることを感じられるような気がしています。使い切らなかつた「肩たたき券」。孫からの他愛ない贈り物を今でも嬉しそうに握りしめながら。

もってポストに投函してください。

編集後記

千葉の台風の影響についてご心配くださる方々へ、本来お手紙でお返事を書ければ良いのですが、お一人お一人お返事を書くことが出来ませんでしたので、この場をもって心より感謝申し上げます。厳しい生活の中に温かい言葉がこんなにも心に刺さるのかと、改めて言葉のチカラを感じました。事務局のある千葉県成田市もまだ一部停電断水の地域がありますが、事務局のある地域は平穏を取り戻しています。郵便事情も問題ないため、皆様への影響もございません。ただ、まだ千葉南部を中心に大変な状況が続いているとのこと。被災した方々が早く平穏をそして晴れやかな気持ちを取り戻せるよう、心から願っています。

次回発送日

9月末の発送日

月末の発送は、通常通り(30日)です。送りたいお手紙がある場合には、発送日の2日前(28日)までに事務局に到着することを確認の上、余裕を

心を澄ませる

わけもなく気持ちが落ち込む。なんだか疲れたなと感じる。そうした時に、自分なりの立ち直り方を持っている人は、強い。たとえば、文房具店に足を運ぶ。カラフルなノートやおしゃれなペン、初めて見る新商品など、見ているだけで少しづつ気持ちが明るくなっていく。そして、よく吟

味した小さな消しゴムをひとつ買って帰る頃には、「また頑張ろう」という気持ちになっている。もちろん、文房具じゃなくても何でもいい。気に入るハンカチを探して買うのでも、丁寧に料理をしてみる

でも、公園を散歩するでも、とにかく気持ちが晴れることを見つけて、気分がのらない時にこそやってみる。気持ちが沈むことは誰にでもある。そうした時にできることを見つけること。そのためには、自分が何に心地よさを感じるのか、日頃から心を澄ませていることが大切だ。

なお、10月から消費税が変わります。詳細は会報の誌面一番最後のページをご覧ください。